

令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立農業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長 計2名
- (3) 内部委員の構成
副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主幹教諭（生活指導主任兼務）、主幹教諭（進路主任兼務）、主幹教諭（保健総務部主任）、農場主任、家庭部主任 計8名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
近隣中学校長1名、近隣小学校長1名、近隣保育園長1名、公共職業安定所代表1名、警察署代表1名、同窓会代表1名、保護者代表1名 計7名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
新型コロナウイルス感染症予防のため、本年度の学校運営協議連絡会は、開催していない。

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：523人 回収：495人 回収率：95%
 - ・12月 保護者全員 対象：523人 回収：361人 回収率：69%
 - ・12月 教職員 対象：64人 回収：44人 回収率：69%
- (3) 主な評価項目
 - ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進などの評価項目を、学校実態に合わせて適宜設定する。
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・本校に入学してよかったと思う生徒は90%、入学させて良かったと思う保護者は90%と高い。

・専門学科の実習授業に対する満足度が高い。

- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・コロナ禍の中で、文化祭をはじめとした教育活動を実施することができなかった。今後は、本校の特色でもある活動を実践し、社会に貢献する人材を育成するよう努める。
 - ・基礎学力及び専門的な知識・技術の定着を図り、生徒の進路実現を図る。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・新型コロナウイルス感染症予防のため、本年度の学校運営協議連絡会は、開催していない。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- (1) 学校運営
 - ・全ての教育活動を通じて、生徒の期待に応える教育の充実に努める。
 - ・学校ホームページをはじめとして、学校 PR を充実させ、本校への理解を深め、入学者選抜における倍率を確保する。
- (2) 学習指導
 - ・分かる授業の実践を通して、基礎学力及び専門的な知識・技術の定着を図る。
 - ・専門高校としての特性を生かし、進路実現を図るための質の高い授業を実践する。
 - ・大学等の関係機関と連携した特色ある授業を通して課題解決能力等の向上を図る。
- (3) 特別活動
 - ・部活動においては、加入率の向上を図る。
 - ・地域貢献等の情報発信と地域に根差した専門教育の充実に努め、地域との連携を強化する。
- (4) 生活指導
 - ・身だしなみ指導を徹底する。また、挨拶の習慣を定着させる。
 - ・SNS等の利用について保護者と連携を図りながら指導する。
- (5) 進路指導
 - ・第一希望の進路実現を目指すために、組織的・計画的な進路指導を行う。

- ・進路通信を活用し、保護者との連携を密に図る。

(6) 健康・安全

- ・より積極的に運動やスポーツに親しむ生徒の育成に努め、体力の向上を図る。
- ・健康教育の推進を図り、生涯を通じて心身ともに健康で安全な生活を送る基礎知識を身につける。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

- ・実施せず。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・実施せず。

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、様々な教育活動の充実を図る。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。